

平成28年度 第24回年次大会 大正村掃除に学ぶ会

10月22日(土)、恵那市で行われた大正村掃除に学ぶ会に本校の硬式野球部の生徒が参加しました。「トイレ掃除を通して心が磨かれる。」手袋を一切使用せず素手で便器を磨きました。普段の生活では、めったに経験できることではありません。今回の活動を通して生徒は大きく成長したように感じます。そんな生徒から寄せられた感想を一部抜粋しました。この活動は中日新聞にも掲載されました。(2ページ目)

参加した生徒の感想 (一部抜粋)

大正村掃除に学ぶ会では、トイレをきれいにするための道具の使い方を一から教えていただきました。道具の使い方を変えるだけで、今までのトイレ掃除よりたくさんの汚れを落とすことができました。また、トイレ掃除のテクニックだけでなく精神的なことも教えていただきました。僕のグループのリーダーの方は、「トイレ掃除をした後は気持ちが清々くなる。」とおっしゃっていました。確かに僕もトイレ掃除が終わった後に、「僕はこのトイレを使わないかもしれないけれど、使う人のためにきれいにするのができた。」と、やり切った気がしました。道具の使い方、掃除に対する気持ちを今後も忘れず、トイレをきれいにしていきます。人のためにという思いは、野球のプレーで魅せていきます。

僕は小便器を掃除しました。最初素手で掃除をすると聞いたとき、とてもびっくりし、抵抗もありました。最初は便器をまともに触ることができませんでした。しかし、自分が掃除をしていく中で便器も少しずつきれいになり、それと同時にしっかりと便器に手を付けて力強く掃除をしている自分がいました。普通自分が使うトイレではありませんが、きれいになってよかったです。今回トイレ掃除をしたことで気持ちもきれいになった気がします。日々生活していくなかで少しずつ汚れていく心を、トイレ掃除をすることによって浄化し、常にいい気持ちを持ち続けたいです。

大正村の掃除に学ぶ会に参加しました。野球部として高校のトイレも掃除することはありますが、今回掃除に学ぶ会に参加して、新たに学ぶことがたくさんありました。トイレ掃除は「汚いから嫌だ。」と自分は考えてしまいましたが、指導してくださった方は裸足でトイレの中を歩いていたり、素手で便器の中を掃除したり、床に手をつけていました。話を聞くと、「そうしたほうが心はきれいになるし、日ごろの嫌なことにも逃げない心構えが身につくのだ。」とおっしゃっていました。最初は抵抗がありましたが、挑戦をして徐々に指導者の方と同じようにやることができました。今回教わったことをしっかり吸収してこの先の人生のいろいろな場面に生かしていけるようにします。



素手で便器を磨き上げる参加者
たち＝恵那市の恵那南高校で

便器磨き 心きれいに 恵那で「掃除に学ぶ会」

トイレ掃除を通じて
自分自身の心も磨こう
という清掃活動「掃除
に学ぶ会」が二十二
日、恵那市明智町の大
正村周辺であり、県内
外の七百人が参加し
た。

参加者は明智小中学
校や恵那南高校、大正
村、明智駅でトイレを
中心に掃除をした。ス
ポンジややすりを素手
で持ち、便器を丁寧に
磨いた。

「掃除に学ぶ会」は
大正村で一九九三年、
地元住民が取り組んで
始まった。現在は活動
が各地に広がり、NP
O法人「日本を美しく
する会」（東京都）の
支部として、国内外の
百二十九カ所に拠点が
ある。

（秦野ひなた）